

平川の七夕馬を再現しました

真菰で作った七夕馬です。馬と牛の姿をしています。七月二十日、「子どもたちに伝統の祭りを伝えたい」と久松博さんと篠田弘克さんが七夕馬を再現してくれました。お二人にとっても約三十年ぶりで、当時の記憶や集められた資料を参考に作業が行われました。七夕馬は近く予定されている子ども会との行事で子どもたちに披露されます。再現された七夕馬は懐かしくて、心和ませる愛らしい姿です。



再現された真菰の七夕馬、馬（写真左）と牛です。



七夕馬を作る久松博さん（写真左）と篠田弘克さん



装飾用の

七夕馬

約50年前に制作



石橋久郎さん宅に故大野道太郎さんが作った七夕馬が保存されています。約50年前、茨城県立歴史館に大野さんの七夕馬が収蔵された頃に、装飾用として依頼を受けて作られたもの（孔一さん談）です。体長30cmほどの七夕馬は、より分けた細かい真菰で作られ、体型を整えるため針金の芯を入れる工夫が施されています。鈴や鞍の掛け物は石橋さん宅で飾り付けられました。当時は玄関に、現在は床の間で大切に飾られています。